

事務事業名	園芸振興事業	事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	産業経済部	農林課	農政係	連絡先	403	

計	政策番号	04	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中					
			基本計画①	01	産業振興ビジョン	#N/A									
			基本計画②	01	産業振興ビジョン	#N/A									
			実行計画	01	農業振興ビジョン	0102	農業生産力の向上								
画	予算事業名	園芸振興事業費				会計コード	01	款	06	項	01	目	04	事業	01
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	野菜花きの推進する園芸品目の多様化する品種に対して、当市での適合性、生産性等の試験栽培を委託し、優良品種の選定による販売強化を支援する。また、市花である「りんどう」の再興を図るため、優良な苗の提供を行う。JA信州諏訪での園芸関係の事業に対して、補助金を交付することで園芸振興を図る。													
	現状と背景 (どうして)	消費者ニーズの多様化により、各品目とも著しい品種の多様化が進んでいる。新たな品種の中から高冷地に適した品種を選び生産販売につなげていく。市花であるりんどうは、高齢化と栽培の難しさから生産者が減少しており、このままだといなくなる可能性がある。それを食い止めるために「りんどう再興プロジェクト」を行う。また、セルリーとパセリの諏訪地域オリジナル品種を絶えることのないように継承していく。													
	目的	受益者 (誰のために)	市内農家												
	対象 (直接間接)	市内農家、JA、JAの各専門部会													
	的意 (どんな状態にしたいか)	野菜花きの推進する園芸品目の多様化する品種に対して、当市での適合性、生産性等の試験栽培を行い、優良品種の選定による販売強化を支援する。りんどう農家がなくならないようにする。セルリー、パセリのオリジナル品種を絶えることのないように継承していく。													
L	手段・方法 (どうやって)	優良品種等の選定のための試験栽培委託。 りんどう優良苗の栽培及び販売の委託。 JA信州諏訪の各事業に対する助成。													
	A														
N	評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
		1	優良品種等の試験栽培実施品目数	試験実施品目数	品目		9								
		2													
		3													
	変更履歴														
	成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
	1	りんどう農家数	農家数	人		15									
	2														
	変更履歴														

実 施 状 況 （ D O ）	財 源 内 訳	項	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		事業費等(a)	円	8,853,000	9,293,000	10,018,000			
		国庫支出金	円						
		県支出金	円	467,000	687,000	750,000			
		地方債	円						
	その他特定財源	円	233,750	343,750	375,000				
	一般財源	円	8,152,250	8,262,250	8,893,000				
	活 動 指 標	試験実施品目数	目標	品目	9	9	9		
			実績	品目	9	9			
		達成率	%	100.00	100.00	-	-	-	
		-	目標	-					
			実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	-	
	成 果 指 標	農家数	目標	人	15	15	15		
			実績	人	15	13			
達成率			%	100.00	86.67	-	-	-	
-		目標	-						
		実績	-						
		達成率	%	-	-	-	-	-	
備考									

事務事業名	園芸振興事業	事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	産業経済部	農林課	農政係	連絡先	403	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	変果動指要標因分)		苗を供給することで生産者の負担を軽減し、生産者数の維持につながった。	苗を供給することで生産者の負担を軽減し、生産者数の維持につながったが、りんどう生産者は高齢の為、離農していく農家は増加している。		
価値	成果	苗の提供による改植面積は、33a(H29),23a(H30)と堅実に維持されている。大根・セルリーダニ防除薬剤・トルコキキョウでそれぞれ1つずつ導入されるものが試験で確認された。	苗の提供による改植面積は33a(H29),23a(H30),34a(H31)と堅実に維持されている。すずみどり(遮光財)の試験を行ったが、明らかな優位性は確認されなかった。新品種試験においても特筆する品種はなかった。			
	課題	リンドウは栽培技術が難しく新規就農者などには進めづらい。生産者の負担の大きい育苗について、優良品種の苗を安定供給することは引き続き必要。	リンドウは栽培技術が難しく新規就農者などには進めづらい。生産者の負担の大きい育苗について、優良品種の苗を安定供給することは引き続き必要。試験品種選定は茅野市全体の農業振興に関わるので継続が望ましい。			
改革	翌々年度方向性	成果	現状維持	現状維持		
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性	成果について、農家数ではなく改植面積として、リンドウの作付面積を維持・再興を確認していく。また、JAと連携しリンドウの作付を勧めていく。	成果について、農家数ではなく改植面積として、リンドウの作付面積を維持・再興を確認していく。また、JAと連携しリンドウの作付を勧めていく。			
	内容	パセリについて、泉野系と諏訪統一品種から前年度の試験結果の指導を参考に農家さんは作っている。次年度は「優良品種選定」ではなく「品種比較」として進めていく。	パセリについて、泉野系と諏訪統一品種の2種類があり、品種比較試験結果の指導を参考に農家さんは作っている。			

作成担当者	池上 卓弥・小林 陽一	清水 満・小林陽一			
最終評価責任者	宮坂 智一	保科 慎一			
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日			